

第 70 回保健文化賞候補者調書 **団体**の部 記入要領

- 応募の内容がこの調書により十分把握されるよう配慮する。
- 年度または年次を指定していない事項については、平成 29 年度について記入する。
- 記載事項が多くても追加用紙を使用せず、必ず所定用紙内に収める。
- 推薦書は必ず本調書の様式 9 を使用すること。他の用紙を使用した場合は推薦書とは認められない。
- 用紙は切り離し、候補者調書（応募用紙）のみ提出する。

※応募用紙は当社ホームページよりダウンロード可能。（A4 片面印刷で使用）

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

※記載事項の変更があるため、必ず第 70 回の調書を使用する。（過去の調書は使用不可）

提出する様式

区分 I 市町村等の行政組織および行政組織に付属する機関、施設	様式 1,2,3,4,5,6,(7,8 は市町村のみ),9,10,11
II 民間企業等	様式 1,2,3,4,5,6,9,10,11
III その他（専門職種団体、非営利法人、ボランティア組織等を含む）	様式 1,2,3,4,5,6,9,10,11

*調書の記載内容や応募に関する照会を行う場合があります。

<様式 1> 「団体の概要」についてご記入ください。

- ・再応募の場合は、今回の応募を除いた過去の応募回数を記入する。
- ・団体所在地は、市町村までを記入する。（番地等の詳細は不要）
- ・市町村は、地勢、人口、産業・経済、保健衛生等の特徴について概要を記入する。
- ・保健所は、活動の対象地域における地勢、人口、産業・経済、保健衛生等の特徴について概要を項目別に簡潔に記入する。
- ・その他の団体は、設立目的、設立年月、会員数（人数、世帯数、職種別会員数等）、組織図、住民の加入率、事業の概要、地域の特性等について項目別に簡潔に記入する。

<様式 2> 「活動の概要」についてご記入ください。

- ・活動の要旨 : 活動の要旨を 100 字以内で記入する。
- ・活動の概要 : 活動のポイントを記入する。特に力を入れた、あるいは入れている内容、特記すべき内容等を簡潔にまとめる。
- ・活動継続年数 : 応募の活動について、平成 30 年 2 月 1 日時点での継続年月数を記入する。期間が明確であれば「〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月」と記入し、継続している場合には「〇〇年〇〇月～継続中」と記入する。

<様式 3> 「活動の業績」についてご記入ください。

- ・取組内容を時系列に記入する。
- ・各々の取組内容について期間が明確であれば、「〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日」と記入し、継続している場合には「〇〇年〇〇月〇〇日～継続中」と記入する。
- ・再応募の場合は、前応募時以降の業績についても分かるように記入する。

<様式4> 「活動の成果」について具体的にご記入ください。

- ・活動全体を簡潔に統括する。
- ・抽象的表現に偏らないよう、具体的に、例えばその成果を裏付ける平均余命、医療費、死亡率、受診率等の評価すべき根拠となる数値等をもって記入する。根拠となる数値等の計算については<様式7>ご参照。
- ・再応募の場合は、前回応募時以降の成果についても分かるように記入する。
- ・添付する資料がある場合は資料名・作成年を記入する。活動状況等が客観的に分かるような新聞、雑誌の切り抜き、写真等で3種類までとする。

<様式5> 「将来における活動計画」「主な協力団体」「受賞歴」についてご記入ください。

- ・活動計画 : 具体的に予定されている事業、体制の変革、将来の活動の方向性等を記入する。
- ・主な協力団体 : 活動に関する協力団体について、「構成」には協力団体の概要・構成員数等を、「内容」には協力団体の主な事業を記入する。
- ・保健文化賞受賞歴 : 過去、団体として受賞している場合は受賞年月を記入する。(市町村の場合、合併前に受賞している場合も含む。)
団体の代表者または代表者であった方が個人として保健文化賞を受賞している場合は、受賞年月、受賞者名を記入する。
- ・叙勲および褒章受章歴 : 団体の代表者または代表者であった方が個人として受章している場合は、受章年月、受章者名、種類を記入する。
- ・厚生労働大臣表彰歴 : これまでに団体として表彰を受けている場合は、表彰を受けた年月、賞名、受賞団体名、表彰事項を記入する。また、団体の代表者または代表者であった方が個人として受賞している場合は、受賞年月、賞名、受賞者名、表彰事項を記入する。
「賞名」には、表彰を受けた賞の名称について「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」等のように記入する。
「表彰事項」には、表彰の対象となった事項について、例えば「献血運動に貢献」「保健衛生事業に寄与」等のように記入する。
- ・その他の表彰歴 : 叙勲および褒章、保健文化賞・厚生労働大臣表彰以外で、今回応募の活動に対して表彰を受けている場合は、表彰・感謝状の別に、年月順で記入する。
「表彰者」には、表彰した団体の名称および代表者の役職・氏名を記入する。なお、表彰者が国または地方公共団体である場合には、局長、知事、市町村長等の区別を明確に記入する。
「表彰事項」には、表彰の対象となった事項について記入する。
例：「献血運動に貢献」「保健衛生事業」等
- ・処罰歴・その他特記事項 : これまでに団体または団体の代表者が受けた処罰、行政処分、および不祥事等があれば、時期・対象者・事由等が明確に分かるように記入する。

<様式6> 「財政状況」「地域の概要」「地域の保健衛生の特性」についてご記入ください。

※市町村は「財政状況」については記入不要

- ・歳入 : 事業収入、補助金、寄付金、会費等について明確に区分し、平成28年度の決算額(単位：千円)を記入する。
- ・歳出 : 当該活動関係およびその他の活動関係に明確に区分し、平成28年度の決算額(単位：千円)を記入する。
- ・地域の概要 : 地勢、人口、産業・経済等について概要を記入する。
- ・地域の保健衛生の特性 : 公衆衛生および環境衛生等について記入する。ただし、活動が地域に深くかかわりが
ない場合、特に記入の必要はない。

<様式7> 「人口・世帯」「保健・医療・福祉指標」について市町村の応募のみご記入ください。

・数値は次の式により算出し、小数点以下第1位（第2位を四捨五入）まで示す。

『人口・世帯』

$$\cdot \text{「従属人口指数」} = \frac{\text{0～14歳人口} + \text{65歳以上人口}}{\text{15～64歳人口}} \times 100$$

『保健・医療・福祉指標』

・平成28年度について記入する。

$$\cdot \text{「粗出生率」} = \frac{\text{出生児数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\cdot \text{「粗死亡率」} = \frac{\text{死亡者数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\cdot \text{「乳児死亡率」} = \frac{\text{乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{出生児数}} \times 1,000$$

$$\cdot \text{「新生児死亡率」} = \frac{\text{新生児(生後4週未満)死亡数}}{\text{出生児数}} \times 1,000$$

$$\cdot \text{「周産期死亡率」} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数} + \text{早期新生児(生後1週未満)死亡}}{\text{出生児数}} \times 1,000$$

$$\cdot \text{「妊産婦死亡率」} = \frac{\text{妊産婦死亡数}}{\text{出生児数}} \times 100,000$$

$$\cdot \text{「がん死亡割合」} = \frac{\text{がん死因死亡数}}{\text{全死亡数}} \times 100$$

・「心臓病、脳卒中死亡割合」は、「がん死亡割合」の算出方法と同じ。

(死因群については、「国民衛生の動向」一般財団法人厚生労働統計協会発行を参照のこと。)

$$\cdot \text{「胃がん検診受診率」} = \frac{\text{胃がん検診受診者数}}{\text{対象住民人口}} \times 100$$

・「子宮がん検診」、「大腸がん検診」、「乳がん検診」、「肺がん検診」、「基本健康診査」の各受診率は「胃がん検診受診率」の算出方法と同じ。

$$\cdot \text{「結核住民健康診断受診率」} = \frac{\text{結核健康診断受診者数}}{\text{対象住民人口}} \times 100$$

$$\cdot \text{「水道普及率」} = \frac{\text{給水人口}}{\text{人口}} \times 100$$

$$\cdot \text{「下水道普及率」} = \frac{\text{下水道利用人口}}{\text{人口}} \times 100$$

$$\cdot \text{「受診率」} = \frac{\text{件数(レセプト枚数)}}{\text{被保険者数}} \times 100$$

$$\cdot \text{「1件当り日数」} = \frac{\text{診療実日数}}{\text{件数(レセプト枚数)}}$$

$$\cdot \text{「1日当り点数」} = \frac{\text{決定点数}}{\text{診療実日数}}$$

$$\cdot \text{「寝たきり者数(人口10万人当りの人数)」} = \frac{\text{寝たきり者数} \times 10 \text{万人}}{\text{人口}}$$

$$\cdot \text{「65歳以上の高齢者世帯率」} = \frac{\text{65歳以上の高齢者世帯数}}{\text{全世帯数}} \times 100$$

・「訪問介護員(ホームヘルパー数)(人口10万人当りの人数)」= $\frac{\text{訪問介護員数} \times 10\text{万人}}{\text{人口}}$

<様式8> 「一般会計関係費」について市町村の応募のみご記入ください。

・平成28年度について記入する。

$$\text{「住民一人当たりのたばこ税額(円)」} = \frac{\text{たばこ税額}}{\text{人口}}$$

『一般会計関係費』

・「衛生関係経費」から「一般会計歳出総額」までの項目について、決算額を記入する。

・「住民一人当たりの衛生関係経費」は、次の式により算出した額を記入する。

$$\text{「住民一人当たりの衛生関係経費 (円)」} = \frac{\text{衛生関係経費の決算額}}{\text{人口}}$$

・「歳出総額に対する衛生関係経費」については、次の算定式により算出した額を記入する。

$$\text{「歳出総額に対する衛生関係経費の割合(%)」} = \frac{\text{衛生関係経費の決算額}}{\text{一般会計歳出決算総額}} \times 100$$

・「住民一人当たりの福祉関係経費」は、次の式により算出した額を記入する。

$$\text{「住民一人当たりの福祉関係経費 (円)」} = \frac{\text{福祉関係経費の決算額}}{\text{人口}}$$

・「歳出総額に対する福祉関係経費」については、次の算定式により算出した額を記入する。

$$\text{「歳出総額に対する福祉関係経費の割合(%)」} = \frac{\text{福祉関係経費の決算額}}{\text{一般会計歳出決算総額}} \times 100$$

・「財政力指数」については、地方交付税法(昭和25年法律第211号)第14条の規定により算出した市町村の基準財政収入額を、同法第11条の規定により算定した当該市町村の基準財政需要額で除して得た数値を記入する。

<様式9> 「推薦者」「推薦事項」「推薦理由」について推薦者をご記入ください。

・推薦者 : 団体が推薦する場合は、推薦団体の名称および代表者の役職・氏名を記入する。

個人が推薦する場合は、推薦者の職業および氏名を記入する。

推薦者の印を必要とする。(団体からの推薦の場合は公印とする。)

推薦者が複数の場合は、「様式9」を推薦者の人数分コピーして使用する。

・推薦事項 : 推薦する活動について、その活動内容の特徴を100字以内で(的確に)記入する。例えば「総合的な健康増進事業の展開」「地区住民を対象とした保健衛生活動の推進」等のように簡潔にまとめる。

・推薦理由 : 推薦する活動について、優れている点、評価すべき点等、推薦する理由を具体的に、例えばその成果を裏付ける平均余命、医療費、死亡率、受診率等の評価すべき根拠となる数値等をもって記入する。

※「様式9」以外の用紙は推薦書として認められません。

※このほかに、様式11も推薦者にご記入いただく必要があります。

<様式10・11> 「候補団体・推薦者記入欄」は、応募に関する照会・連絡に利用するため必ずご記入ください。

・ここに記載いただく個人情報については、応募に関する照会・連絡以外に利用することはありません。

・様式11は、様式9と併せて**推薦者**をご記入ください。